しまなみ農業だより

イノシシは、どんな動物？

(1) 分　布
(2) 形　態
(3) 生殖と産子数　(4) 食　性
(5) 行動の特性　(6) 能　力
(7) 学習能力

イノシシは、どんな動物？

上島町では、平成16年ころからイノシシによる農作物の被害が見られ始めました。防護柵の取り付け、罠や狩猟により毎年200頭余りを捕獲しているにもかかわらず農作物の被害は減りません。民家周辺に出没し不安を募らせる住民もいらっしゃると聞きます。改めて、イノシシという野生動物の生態や行動などについて解説します。

生　態

① 分　布

西日本を中心に広く分布するニホンイノシシは、林地や植草の多い里山に好んで生息します。全国的に分布の拡大が見られ、原因として、暖冬による産子（うぶこ）の生存率の高まり、ハンターの減少による狩猟圧の低下、耕作放棄地の増加などと考えられています。イノブタの交配による産子数の増加が疑われましたが、数世代でイノシシの産子数に戻るようです。

② 形　態

中型のほ乳類のイノシシは、短く太い首を持ち、四肢は短く、体は剛毛に覆われ、体形は、茂みの中を進むのに適した、前駆（ぜんく）が発達した丸い流線型をしています。雄雌ともに犬歯が発達した牙があり、雌の牙は口唇からはみ出すことはなく、雄の牙は3歳齢ころから口唇からはみ出します。体色は、黒褐色から赤褐色で、生まれたばかりの子は、白またはベージュ色の縞模様が入り、ウリボウと呼ばれ、3か月～6か月齢ころには消えていきます。

③ 生殖と産子数

イノシシは、生後1年半で性成熟に達しますが、雄は、雄同士の闘争に勝てる3歳齢から生殖に参加するようです。年1産で晩秋から冬にかけて交尾し、妊娠期間は約120日、5月～6月に出産します。まれに、春の産子が死亡して授乳が止まると発情し、秋に分娩することもあります。1回の分娩で2頭～7頭、平均で4頭から5頭の子を産むようです。

④ 食　性

イノシシが繁栄しているのは、さまざまな環境で食べ物を得ることができる雑食性と優れた学習能力のおかげと言われています。山野にある植物から小動物など地中を掘り返して食料を探しあてます。

⑤ 行動の特性

イノシシは警戒心が強いため主に人の活動しない夜間に活動します。（夜行性と思われがちですが、危険が無ければ昼間にも行動します。）行動パターンは定住期と移動期を繰り返すようで、移動期には海を泳いで渡る個体もあると考えられます（写真）。イノシシの社会は、複数の子どもを連れた1頭以上の成雌からなる母系グループと単独成雄と生殖に参加しない若雄グループの3タイプに分けられ、強いなわばりは持たないと言われています。

⑥ 能　力

臭覚は犬並みに優れています。視覚は弱いですが、青系統の色覚能力や動く物体にすばやく反応するようです。運動能力は、時速45kmの走力と1mの障害物を飛び越える跳躍力を備えますが、飛び越えるよりも潜り抜ける傾向が強いようです。鼻の力が強く70kg程度の物を動かすことができます。

⑦ 学習能力

イノシシは、学習能力が高く、柵の突破に1頭が成功すると他の個体もまねて侵入できるようになるといわれています。また、罠での捕獲獣は雌が少ない（図参照）理由として、幼獣を連れている雌は、幼獣が罠にかかることを学習していると推測されています（愛媛大学武山）。ブタは管理者を見分けるそうで、人家近くに出没するイノシシは人を見分ける学習をして、若い大人を見ると逃げ出すが老人や子供を見ても逃げないという現象が観察されているようです。イノシシは学習能力が高いので、野菜や果実を安易に畑や山に捨てることで、餌付けとしてイノシシが学習し、おびき寄せることになります。また、ワイヤーメッシュは突破されないよう点検を行い、弱点を敵に見せないよう個々で気を付けましょう。

▲海を泳ぐイノシシ

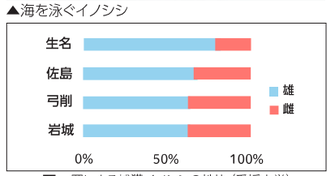

図　罠による捕獲イノシシの性比（愛媛大学）

令和4年度全国統一防火標語
「お出かけは　マスク戸締り　火の用心」

新人職員の紹介

愛媛県消防学校での6ケ月間の研修を終え、10月から消防署に着任した新人職員の紹介をします。

山岡（やまおか）　凌（りょう）（26歳）
今治市出身
趣味：筋トレ
好きな言葉：努力

【心境・抱負】
半年間の厳しい消防学校生活で、仲間と切磋琢磨し、知識や技術・体力の向上に努めて参りました。今後は、日々の訓練に向上心を持って取り組んで参ります。
上島町の皆さまの安心と安全を守るため、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

▲警防資機材取り扱い訓練

▲救急資機材取り扱い訓練

▲防火衣着装訓練

消防学校ってどんなところ？

愛媛県の消防学校は、松山市にあり全寮制となっています。
県内14消防で新たに採用された消防士は、半年間の初任教育を受けています。初任教育の他にも、専科教育として救急科、救助科、予防科等が7科あり、幹部科や特別教育として、無線や災害対応の研修も行っています。また、消防団員の教育も行っており、資質の向上を目的として、有能な消防人を育成しています。

令和4年8月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R4累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	17	6	4	1	0	28	294

（令和4年8月31日現在）

上島町消防本部・消防署　☎77-4118
消防防災課　☎77-3166

配線器具の火災に注意しましょう

テーブルタップ・延長コードによる事故が全国で毎年発生しています。2016年から2019年にかけては、事故は減少していましたが、2019年から2021年は2年連続で増加しており、コロナ禍でのテレワークの普及・増加により、配線器具の使用が増えたことが関係しているものと推定されています。原因としては、家庭内のほこり、水分の付着による※トラッキング現象などです。配線器具や配線状況を点検し、事故を未然に防ぎましょう。

事故防止のポイント

- ○ コンセントの差込口などにほこりがたまらないように清掃する。
- ○ コンセントの差込口などに水分が付着しないよう注意する。
- ○ 電源コードを椅子や机で踏むなど、無理な力を加えない。
- ○ 最大消費電力以上の電力を超えるような使用をしない。

※トラッキング現象とは

コンセントに差し込んだプラグ部にほこりや湿気が付着することにより、差し込みプラグの刃の間に電流が流れ、火花放電を繰り返すことで、炭化し、導電化（トラック）され、出火する現象です。